

一般質問

熊谷 善夫 議員

問 国と地方の税財源配分の三位一体改革原案に対する市長の受け止め方を伺う。

答 国庫補助負担金軽減の議論が先行しており、引き続き税財源移譲等を要望する。その他の主な質問項目

包括外部監査による文化教育施設と地下鉄事業への指摘と意見への対応

本市の特区構想での雇用創出と若者の就業支援策

地域ごとの生活環境整備の要求と訴えへの対処

観光立市としての条件整備

問 市役所本庁舎の建替え

答 近県から買物や遊びで仙台を訪れる人々を、さらに増やす対策を確立すべき。

問 ホームページの充実

答 JRとの連携や旅行代理店等関係機関との協議を進め、来訪者の拡大に努める。

問 一般論として首長の多選問題の市長の考えを伺う。

答 一定の時期には体制を一新し、活性化を図るべき。その他の主な質問項目

市民が納めた県税の還元率が低い問題の是正について

前市長の写真掲示について

問 岡本 あき子 議員

答 年度途中で学級減と学級編制はやるべき。

問 今年度から児童生徒数増加の場合にのみ再編制、年次では学級数を減らさない。その他の主な質問項目

少人数学級の早期実現を二期制導入の効果と課題校内LANの整備にネット方式の導入を

中小企業融資預託金制度をより利用しやすいものに耐震改修促進の早期実施を運営委託している公共施設の災害時対応策の再確認を



庄司 俊充 議員

問 学校給食で、旬の地元農産物を取り入れた取組を進め、地元産食材を多く使った「ふるさと食の日」を導入すべき。

答 学校及び生産関係団体等と協議をし、地元農産物を導入する学校の拡充に努める。その他の主な質問項目

循環型農業の推進を

応急手当の普及啓発の推進

地震時の通信体制の整備を

住宅耐震補強工事への支援

耐震診断士派遣事業の拡大

フリーラム仙台

木村 勝好 議員

問 近県から買物や遊びで仙台を訪れる人々を、さらに増やす対策を確立すべき。

答 ホームページの充実

問 JRとの連携や旅行代理店等関係機関との協議を進め、来訪者の拡大に努める。

問 一般論として首長の多選問題の市長の考えを伺う。

答 一定の時期には体制を一新し、活性化を図るべき。その他の主な質問項目

市民が納めた県税の還元率が低い問題の是正について

前市長の写真掲示について

問 岡本 あき子 議員

答 年度途中で学級減と学級編制はやるべき。

問 今年度から児童生徒数増加の場合にのみ再編制、年次では学級数を減らさない。その他の主な質問項目

少人数学級の早期実現を二期制導入の効果と課題校内LANの整備にネット方式の導入を

中小企業融資預託金制度をより利用しやすいものに耐震改修促進の早期実施を運営委託している公共施設の災害時対応策の再確認を

問 国が来年度開始を目標を最大限に発揮し、被害を最小にとめる対応策の一つが情報通信対策である。遠隔地からの情報の収集、伝達等、今後の取組について伺う。

答 庁内で課題を整理し、国へも、宮城県沖地震に係る特別措置法の制定要望とあわせて、災害時通信システムの整備について、緊急要望した。その他の主な質問項目

消防ヘリコプター二機体制の必要性



問 JR仙山線「仮称松原駅」の新設と、作並へ「道の駅」を建設する提案について市長の見解を伺いたい。

答 両施設は仙台・山形の中間に位置し、仙山圏における圏域内交流の促進にインパクトを与える要素と考える。その他の主な質問項目

高齢者向け住宅、特養ホームの緊急ショートステイ等

今後の福祉サービスの展開

災害時の公衆電話の確保

文教施設の震災対策と、市長の特別措置法要請の趣旨

問 山口 津世子 議員

答 みんなが憩い合える、上下水道・電気・ガス完備の「屋台」のある街づくりを。

問 炭水化物の創出や魅力ある空間づくりができる固定式屋台の取組を積極的支援する。

自由民主党

野田 謙 議員

問 再来が危惧される宮城

答 子どものためにより弾力的な学級編制を

問 国が来年度開始を目標を最大限に発揮し、被害を最小にとめる対応策の一つが情報通信対策である。遠隔地からの情報の収集、伝達等、今後の取組について伺う。

答 庁内で課題を整理し、国へも、宮城県沖地震に係る特別措置法の制定要望とあわせて、災害時通信システムの整備について、緊急要望した。その他の主な質問項目

消防ヘリコプター二機体制の必要性

公明党

嶋中 貴志 議員

問 JR仙山線「仮称松原駅」の新設と、作並へ「道の駅」を建設する提案について市長の見解を伺いたい。

答 両施設は仙台・山形の中間に位置し、仙山圏における圏域内交流の促進にインパクトを与える要素と考える。その他の主な質問項目

高齢者向け住宅、特養ホームの緊急ショートステイ等

今後の福祉サービスの展開

災害時の公衆電話の確保

文教施設の震災対策と、市長の特別措置法要請の趣旨

問 山口 津世子 議員

答 みんなが憩い合える、上下水道・電気・ガス完備の「屋台」のある街づくりを。

問 炭水化物の創出や魅力ある空間づくりができる固定式屋台の取組を積極的支援する。

日本共産党

船山 由美 議員

問 救急患者の搬送時間の短縮、受入病院の拡充のため思い切った財政的支援をすべき。また、メテオAIコンドル体制を支える救急隊強化のため三交代勤務の実現を。

答 現況調査の分析結果を踏まえ、患者を迅速に収容できる体制の構築に向け取り組む。救急隊員の三交代勤務の拡大は今後研究していきたい。



石川 建治 議員

問 次期（H16）は、仙台市実施計画は市民・地域の要望を反映し策定すべき。

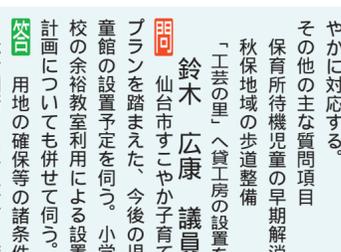
答 地域の事情や市民の要望を踏まえた計画となるよう、

福島 かずえ 議員

問 宮城野区幸町のジャスコ出店に対して、地域住民や経済界から出された声を尊重し、住民の生活環境を守る役割を果たすべき。特に渋滞解消の促進と二十四時間営業についての対応を求める。

答 交通問題解消のため、出店者は引込線路の設置等を行い、本市は周辺道路を四車線化する。二十四時間営業については、青少年の非行防止のため適切な対応を求める。その他の主な質問項目

消防ヘリコプター二機体制の必要性



社民党

渡辺 博 議員

問 地方分権の時代、仙台市政の発展を図る上で、宮城県との連携を改めて考えるべきだと思いががが。

答 県民・市民の福祉向上に向けた共通視点を立った関係を構築する中で、一定のルールが形成されることが望ましいと考えている。

その他の主な質問項目

税金の有効活用のための行政評価システムについて

人材活用システムの構築について

財政健全化について

高橋 次男 議員

問 巨体化し、歩道の幅員を狭めたり、枝折れ等による事故の発生が懸念される街路樹に対し管理基準の策定が必要。

答 道路の構造や地域の実

鋭意努めていく。

問 モデル緑化など屋上緑化の普及活動を推進すべき。

答 環境学習にも活用できるモデル緑化を（仮称）ガス局広瀬通シヨールム屋上に行うほか、普及啓発に努める。その他の主な質問項目

研究機関の設置など火災現場での安全策の向上を

大槻 正俊 議員

問 撮影・口後のメッカ仙台の実現に向け取り組め！

答 フィルムコミッション設立後は多くのロケの申込みがある。多くの作品の舞台となり、全国に魅力を発信できるよう支援体制の充実を図る。その他の主な質問項目

仙台空港を伊達政宗空港へ

仙台駅付近のバスターミナル、発着所の整備促進を

投票に行きやすい選挙に

新設野球場の規模拡大を

震災時のペット対策を

動物園の震災対策の徹底を

無所属

屋代 光一 議員

問 空港アクセス鉄道について

答 空港が終点の盲腸線に終らせない努力を継続すべき

問 構造上は延伸可能である。先進的な提案と受け止め、将来的な課題としたい。

事業方式と採算面について

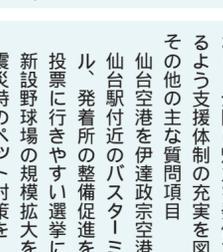
市の疑問を明らかにすべき

県と取り交した建設費負担の確認書の効力について

開業後に廃止が予想される市バス空港線の営業補償は

その他の主な質問項目

選挙違反に関する公職選挙法の解釈について



常任委員会

審議の概要

平成十五年六月二十七日開催

総務財政委員会

付託された五議案は、第七十六号議案及び第九十二号議案については賛成多数で、残る三議案は全会一致で、原案のとおり可決又は承認すべきものと決定した。

問 東京事務所跡地を賃貸ではなく仙台市が直接活用してはどうか。また新たに入居するビルの一階に市政の情報コーナーを設けてはどうか。

答 跡地の活用は費用対効果の面で困難だが、市政情報展示については検討する。

問 恩給条例の改正で影響を受けるのは何人くらいか。

答 給付を受けているのは



付託された議案番号
(第73・75・76・90・92号)

委員長 野田 謙
副委員長 関根 千賀子

健康福祉委員会

付託された三議案は全会一致で可決すべきものと決した。

付託された第二号請願「医薬品の一般小売店における販売」について慎重に対応する意見書の提出を求める件を採択すべきものと決定し、意見書を議長に提出した。

問 健康福祉局の報告への質問

答 緊急通報システムへの民間事業者の導入に関し、従来の協力員方式への地域での協力の状況について伺う。

問 高齢者本人が協力を要見つけにくい場合、申出を受け民生委員に相談するが、確



付託された議案番号
(第80・94・95号)

委員長 加藤 栄一
副委員長 佐藤 わか子

都市整備建設委員会

付託された四議案は全会一致で可決すべきものと決した。

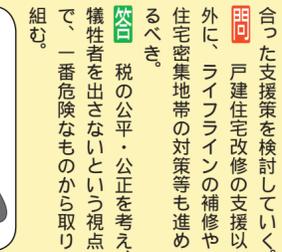
問 都市整備局の報告への質問

答 都市計画道路土樋藤塚線の形状が変則的である理由について伺う。

問 昔の堤防の上でその下に一部宅地がある特殊な状況のためである。地域住民に十分説明しながら進めていく。

問 戸建住宅耐震診断士派遣事業について、耐震診断の結果補強が必要とされた場合、その費用助成等の支援策を求め。

問 震災時に犠牲者を出さないように、本市の実情に



付託された議案番号
(第73・74・81・91号)

委員長 木村 勝好
副委員長 田村 稔

市民教育委員会

付託された十二議案は、第七十七号、第七十八号及び第九十二号議案について異議があり、起立採決の結果賛成多数で、また、残る九議案は全会一致で、原案のとおり可決又は承認すべきものと決定した。

問 市民センターにおけるキャンセル料設定の目的と内容について伺う。

答 従来から既納の使用料を返還しないという条件があったが、既納に限っていたので不公平が生じていた。今回のキャンセル料については、発生時期を使用日を含めて七日前以降とし、使用料の百分ということで考えている。



付託された議案番号
(第77・78・79・82・83・84・85・86・87・88・89・92号)

委員長 西澤 啓文
副委員長 ふるくは 和子

経済環境委員会

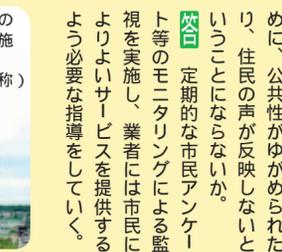
付託された第七十三号議案は、賛成多数で、また、第九十二号議案については全会一致で原案のとおり可決又は承認すべきものと決定した。

問 土壌汚染防止対策事業費の補正の内容を伺う。

答 汚染地の把握・原因解明を効率的に行うため、土壌汚染履歴、地下水の飲用利用の状況など土壌汚染関連情報を収集整備するシステムを構築するものである。

問 (仮称)松森工場関連

答 建設中の建物は松森工場、その手前に松森工場関連市民利用施設の建設を予定している。(名称はいずれも仮称)



付託された議案番号
(第73号・92号)

委員長 日下 富士夫
副委員長 庄司 俊充

公営企業委員会

交通局からの報告

夏休み期間限定の企画乗車券の発売等について

夏休み期間中に、バス・地下鉄の一日乗車券と施設入場料の割引券がセットになった「夏休み遊ぼうキップ」を発売する。また、指定の施設をめぐるスタンプラリーと日常生活で環境問題に取り組み工夫・チャレンジを併せて行うために抽選で景品を贈る、夏休み土曜「チャレ」ラリーを実施し、バス・地下鉄の利用促進を図る。

ガス局からの報告

旧工場跡地の土壌汚染対策



付託された議案なし

委員長 佐竹 久美子
副委員長 安藤孝子 雅浩

用語解説

本文中の青文字の用語解説です。

市民利用施設予約システム注1)

(一頁三頁目、二頁四頁目)

パソコン・携帯電話や区役所・文化センター・拠点市民センター等の端末で、全市の市民利用施設の利用を予約するシステム。

(二頁六頁目)

マイスタープラン注2)

(二頁六頁目)

地域に開かれた学校づくりを進めるため、仙台市立の学校にある余裕教室を開放して、地域の学習団体、ボランティア団体等の活動拠点とし、さらに、その活動成果を学校教育に反映させることを目的とした学校開放事業。

(仮称)松森工場市民利用施設PFI特定事業注3)

(二頁五頁目、三頁三頁目、七頁三頁目)

工場の余熱利用施設やスリット施設、緑地の整備を行う事業で、民間の資金・経営能力等の活用を図るPFI事業での実施を予定している。

平成十七年度運営開始予定。

市政出前講座注4)

(三頁二頁目)

市の政策や事業について市職員が出向いて説明するとともに意見交換を行い、市民の市政への理解を深め、市民と行政のパートナーシップを進めようとする事業。

実施計画注5)

(六頁五頁目)

基本計画・仙台21プラン(平成十二年)に基づき、21世紀都市「仙台」の実現をめざして、三か年に取り組み具体的事業内容を明らかにしたもので、次期実施計画は平成十六、十八年度。

屋上緑化注6)

(六頁六頁目)

都市部での緑地空間の創出や、ヒートアイランド(都市の高温化)現象への対策に有効とされる。本市では独自の助成措置を行っている。第百三十号の用語解説で「グリーンタス」を「ラテシタ」と誤記している。この意味としたのは、「過在する」の誤りでした。訂正いたします。